

神戸大学 学 報

第 61 号

昭和32年11月5日印刷

昭和32年11月5日発行

編集発行人 神戸大学庶務課長
発行所 神戸大学庶務課調査掛
神戸市灘区六甲台町 電話◎0001~7
印刷所 田中印刷出版株式会社
神戸市灘区岩屋中町3丁目34 電話◎7116

目 次	次
法 令..... 1	海外出張
通 達..... 1	故水島鏡也先生30年忌記念式
辞 令..... 2	パタゴニア探検先発隊出発
学 事..... 2	小学校教育研究集会
次期学長候補者決定	文部省の学力調査
教育学部通信教育講座終末考査実施	日本法社会学第16回大会
昭和32年10月卒業生氏名	通信教材部の支部業務監査
雄 報..... 3	主要日誌..... 4
平井教授にパリ名誉市民の称号	諸統計報告..... 5

● 法 令

- 省 令
郵政省令第23号 外国郵便規則の一部を改正する省令
(9月4日官報参照)
- 規 則
人事院規則9-17 俸給の特別調整額の一部を改正する規則
(9月21日官報参照)
- 官報の正誤
俸給の特別調整額の一部を改正する規則(人事院規則9-17)中訂正
(9月28日官報参照)

● 通 達

- 官庁綱紀の肅正について
国 総 第 150 号
昭和32年9月27日
各国立学校の長殿
文部事務次官 稲 田 清 助
官庁綱紀の肅正について
このたび官庁綱紀の肅正について本月17日および20日の閣議において、それぞれ、別紙①および別紙②のとおり閣議決定されました。ついては、この趣旨の徹底を期し、綱紀肅正の実をあげられるよう御配慮願います。
別紙 ①
官庁綱紀の肅正について(内閣総理大臣談)
近時公務員の公務執行に当り世の疑惑を招くがごとき事態の発生を見つつあることは、汚職追放を念願とする現内閣としては放置することのできない問題である。

思うに敗戦による混乱と虚脱、法律軽視の思潮、公務員の責任体制の紊乱等から来る官庁綱紀の弛緩が今なお是正されず、今日の事態を招来したものと考えられる。よつて政府はこの際重大なる決意をもつて、かかる非違の根源をつき、これが絶滅を期して、閣僚はじめ各省庁の監督指導の地位にある者より、自肅自戒、率先垂範もつて官場における綱紀の肅正をはかんとするものである。

右の趣旨にもとづき、政府は国家公務員等をして、いやしくも法の軽視を許さず、服務規律を厳正にし、政府機関等の業務運営の秩序を回復するため、官庁における責任体制の整備、職場規律の確立、人事管理の厳正、監察監査の強化等につき、すみやかに有効適切な措置をとらんとするものである。

別 紙 ②

官庁綱紀の肅正について
昭和32.9.20閣議決定

官庁綱紀の肅正についての内閣総理大臣談(昭和32年9月17日閣議決定)に基き、国家公務員の綱紀を肅正するため、さしあたり次の措置を講ずるものとする。

- 一、責任体制の整備
- 1、各級職員、特に班長、係長等第一次監督者の所掌事務及びこれに関する権限の範囲と責任を明確にすること。
- 2、職務権限の配分にあつては、チェック・システムを活用する等不正行為の発生を未然に防止するよう措置すること。
- 3、決裁事項を再検討して、内部委任等の形式により、形式的な決裁を整理し、決裁には必ず実質的な責任を伴わせるよう改めること。また内部委任、代決等についてはその事項を具体的に明確にすること。

4、監督者の部下職員に対する監督責任を重視し、これを怠つた者に対しては厳重な措置を講ずること。

二、服務規律の確保

1、日常の執務については、所定の服務規定を厳守させることとし、この際徹底的に執務態勢の刷新を図ること。

2、職員の行動につき、常に公私の別を明らかにするように指導し、職務上利害関係のあるものとの会食贈答等で疑惑を招くような行為は厳に禁ずること。

3、服務規律が職員団体の活動等と関連して軽視されてきた実情にかんがみ、職員団体等との関係においても法令を順守させ、勤務時間中の組合活動、給与からの組合費の差引等違法又は不当な行為が行われぬようにすること。

4、部外者の陳情、面会等の応接についても、服務規律が乱されないようにその場所、時間等につき適宜の規制措置を講ずること。

三、適正な人事管理の実施

1、人事管理は、職員の勤務成績を基本にして行うこととし、このため勤務評定を適切に励行し、職員の勤務状況、性向等の適確な把握に努めること。

2、予算の執行事務その他外部との利害関係のある業務については、特にその公正な執行につき十分責任を持たせよう職員を配置するよう努めると共に、同一職員が長期に同一業務を担当することに伴う余弊を防止するため適時に配置換等を行うこと。

3、職員が違法行為又は服務規律違反の行為を行った時は、直ちに実情を調査し、厳正な処分を行うこと。

四、監査監察の強化

1、各機関の内部監査機能を強化して、人事管理、業務執行の実情を常に把握し、その適正な運営の確保に努めること。

2、行政監察についても内部監査機関との連絡を密にすると共に綱紀厳正に留意して行い、業務運営の適正化に資すること。

なお、地方公務員、公共企業体職員についてもそれぞれの当局に対し、右の趣旨に準じて措置するよう要請するものとする。

辞令

△文部省発令

Table with columns: 発令月日, (現官職)氏名, 異動事項. Includes entries for 阿部真琴 and 黒田英一郎.

Table with columns: 発令月日, (現官職)氏名, 異動事項. Includes entries for 黒田英一郎, 太田頼常, 北野康, 工藤好美, 永積安明, 芦田季雄.

△大学発令

Table with columns: 発令月日, (現官職)氏名, 異動事項. Includes entries for 砂川久司, 内海優, 平賀一郎, 堀君子, 樽本治三郎, 山地達子, 津村正一, 厚地和夫, 加藤祐輔, 下中多喜子, 能勢信子, 野沢良雄, 巽一夫, 下野静子, 久野宏泰, 坂元昌朗.

第二課程 小松健太郎 炭谷清一郎
工学部
工学士 奥川寿一

雑報

○平井教授にバリ名誉市民の称号

去る6月パリで開かれた「第11回国際経営学会」に出席した経営学部長平井泰太郎教授は、同会議のあと、パリ市参事会からバリ名誉市民(アミ・ド・パリ)の称号を授与された。これは「国際的経営学の交流につくした功績」によるものである。

○海外出張

理学部喜多助教授は、フルブライト法による交換教授として米国に出張中であつたが、その在外研究期間が更に昭和32年11月25日まで延期された。

○故水島鎮也先生30年忌記念式

神戸高等商業学校初代校長として創設に多大の業績を残し、その発展の基礎を築いた故水島鎮也先生の30年忌記念式が11月2日六甲台学舎で行われ、水島家から花子未亡人をはじめ各方面から関係者多数が参列した。校庭の先生の胸像前の式典に引きついで、故人を偲ぶ追憶談、講演会、茶話会、遺墨展など多彩な催しが行われた。

○バタゴニア探検先発隊出発

南米バタゴニア探検隊の先発隊が10月30日、大阪発はと号で壮途についた。

先発隊は、副隊長(文学部助教授高木正学)外1名でホームでは、隊長(経済学部教授田中董)、古林学長をはじめ関係者多数が歡送激励した。

同探検隊は、日智両国協同のもとにアンデス地方の人類学、民族学等の学術調査を行うものであり、日本側は毎日新聞社、日智合同バタゴニア探検後援会が主催する。

なお、本隊(6名)は、11月末海路出発、来年1月末探検基地プントアレナスにおいて日本から直行する田中隊長と合流、約2カ月間調査を行う予定。

○小学校教育研究集会

教育学部附属住吉小学校主催、兵庫県教育委員会後援による小学校教育研究集会が10月18、19の両日、教育学部附属住吉小学校において行われた。県下の小学校から約1,000名の教員が参加、その研究成果を発表した。

○文部省の学力調査

文部省の計画による本年度、小学校、中学校、高校の児童、生徒の学力調査に、教育学部附属住吉小学校6年生が指定され、9月27日、社会、理科に関するテストが行われた。

○日本法社会学会第16回大会

去る10月19日、日本法社会学会第16回大会が六甲台学舎において催され、全国各地から多数の会員が参加、

学事

○次期学長候補者決定

古林現学長の任期満了(12月15日付)に伴う次期学長候補者推薦委員会が、去る10月31日午後2時半から、本学六甲台学舎にて開かれ、次の3氏が選出された。次期学長候補者(五十音順)

- 法学部教授 北村五良
現学長 古林喜楽
経営学部教授 福田敬太郎

同委員会には、学長、各学部長、各学部教授代表2名、経済経営研究所長、附属図書館長、分校主事らが出席、2名連記で投票、選出したものである。

なお、11月11日に選挙の公示、18日に専任の教授、助教授及び講師ら約330名により投票が行われる。

○教育学部通信教育講座終末考査実施

教育職員免許法施行規則第6章の規定に基く免許法認定通信教育講座第20回終末考査を9月15日、教育学部及び姫路分校において実施した。

なお、合格者は48名である。

○昭和32年10月卒業氏名

- 文学部
文学士 桜井靖芳 前田彰彦 寺本妙子
教育学部
教育学士 藤田健一 竹内和彦 上田紀彦
藤谷忠 古橋 樟 宮本昌幸
中田季好 阪本武郎 炭山正明
田村元治 山口弘彦 赤松 徹
林 辰彦 山崎道子
二年課程修了者
橋本玲子 末馬弘明 上前 博
吉田康男 吉沢光之助
経営学部
経営学士
第一課程 吉岡 広

その研究成果を発表した。

○通信教材部の支部業務監査

通信教材部神戸大学教育学部支部業務監査が、10月9日実施され、会計部長望月勇次(東京学芸大学会計課長)総務部主事五十嵐正雄(東京学芸大学学生課課長補佐)の両氏が、監査のため来学された。

● 主要日誌

- 9月2日 臨時事務長連絡会議
- 3日 東京工業大学会計課長 錦織武氏来学
- 7日 田崎奨学基金委員会 凌霜会理事長 永井幸太郎氏来学
- 11日 大阪大学学生部厚生課長 郡軍二氏来学
- 12日 評議会 学部長会議
- 14日 マラヤ大学教授 E.H.G. Dobby 夫妻バーゲン高等商業学校教授 Axel. Sömmе 氏来学
- 20日 一ツ橋大学名誉教授 藤本幸太郎氏外1名来学
- 24日 定例事務長連絡会議
- 26日 評議会
- 28日 台湾僑生童子軍赴日訪問団々長 陳海光氏外12名来学
- 10月3日 入試委員会
- 4日 長崎大学々長 古屋野宏平氏、同大学経済学部長 馬場 誠氏来学
- 7日 文部省調査局統計課長 白井亨一氏外2名来学 同志社大学々長 大下角一氏、同大学経済学部長 松井七郎氏来学
- 8~11日 教育調査統計職員講習会(於六甲台学舎) 私学振興会理事長 伊藤日出登氏来学
- 9日 衆議院文教委員会調査室長 石井勘氏来学(工学部)
- 10日 大学院委員会 文部省調査局調査課長 伊藤良二氏来学
- 11日 神戸市立図書館長 志智嘉九郎氏来学
- 12日 愛媛大学 大谷政敬教授来学
- 14日 月曜懇談会 神戸市建設局長 長久保俊夫氏来学
- 15日 文、法、経済、経営各学部専門課程進学指導会
- 16日 教育、理、工各学部専門課程進学指導会
- 17日 評議会 学部長会議

教科委員会

- 18日 学徒援護会理事長 阿原謙藏氏 神戸商科大学長日比野勇夫氏来学
- 22日~24日 昭和32年度文部省会計実地検査
- 23日 旧制教授会
- 26日 神戸法学会総会(於六甲台学舎)
- 31日 評議会 協議会 学長候補者推薦委員会 ジュニヤ協議会 フルブライト中学英語教師 Miss. Lois A. More 帰国

● 諸統計報告

神戸大学在籍学生数一覽表

昭和32年10月末日現在

入学年 度	学 部 名 性 別	教育学部		法学部		経済学部		経営学部		理 学 部	工 学 部	台 計	
		四 課 年 程	二 課 年 程	第 一 程	第 二 程	第 一 程	第 二 程	第 一 程	第 二 程				
昭和 和度	男					1	2		1		1	5	
	女					0	0		0		0	0	
24(1)	計					1	2		1		1	5	
" "	男	4	1		1	1	1	3	3	1	2	17	
	女	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	
25(2)	計	4	1		1	1	1	3	3	1	2	17	
" "	男	1	2		3	(1) 7	8	(1) 3	10		(1) 3	(3) 37	
	女	0	0		0	0	0	0	0		0	0	
26(3)	計	1	2		3	(1) 7	8	(1) 3	10		(1) 3	(3) 37	
" "	男	7	4		2	6	13	5	22	3	5	67	
	女	1	0		0	0	0	0	0	0	0	1	
27(4)	計	8	4		2	6	13	5	22	3	5	68	
" "	男	18	7		15	11	70	14	67	8	13	223	
	女	1	1		0	1	0	0	0	0	0	3	
28(5)	計	19	8		15	12	70	14	67	8	13	226	
" "	男	72	(1) 178	2	90	176	60	(1) 150	60	(1) 25	(3) 152	(6) 965	
	女	16	46	0	2	0	0	0	0	8	0	72	
29(6)	計	88	(1) 224	2	92	176	60	(1) 150	60	(1) 33	(3) 152	(6) 1,037	
" "	男	(2) 60	162	4	95	178	42	(1) 152	43	(1) 28	(1) 146	(4) 980	
	女	28	47	4	0	0	0	0	0	5	1	87	
30(7)	計	(2) 88	209	8	95	178	42	(1) 152	43	(1) 33	(1) 147	(4) 1,067	
" "	男	(1) 67	120	73	89	165	27	(1) 158	27	(2) 37	(3) 145	(3) 951	
	女	16	45	85	1	0	0	0	0	2	0	151	
31(8)	計	(1) 83	165	158	90	165	27	(1) 158	27	(2) 39	(3) 145	(3) 1,102	
" "	男	69	103	90	84	163	28	165	32	37	166	976	
	女	13	49	62	0	0	0	0	0	4	1	132	
32(9)	計	82	152	152	84	163	28	165	32	41	167	1,108	
合	男	(3) 298	(1) 577	169	379	152	708	(1) 251	(1) 650	(3) 265	(3) 139	(6) 633	(18) 4,221
	女	75	188	151	3	7	1	0	0	19	2	446	
計	計	(3) 373	(1) 765	320	382	159	709	(1) 251	(1) 650	(3) 265	(3) 158	(6) 635	(18) 4,667

() 内は外国人学生数を内数で示す。

昭和32年10月末日現在

神戸大学学舎別在籍学生数一覽表

学舎別	入学年度	学部名	教育学部		法学部		経済学部		経営学部		理学部	工学部	合計	
			四課程	二課程	第課程	第課程	第課程	第課程	第課程	第課程				
御影学舎	昭和25年度	4									1		5	
	// 26 //	1									3		11	
	// 27 //	8									8		26	
	// 28 //	18									33		120	
	// 29 //	87									33		121	
	// 30 //	88									33		104	
	// 31 //	71									111		388	
計	277													
住吉学舎	昭和25年度		1										1	
	// 26 //		2										2	
	// 27 //		2										2	
	// 28 //		8										8	
	// 29 //	223	2										225	
	// 30 //	206	8										214	
	// 31 //	163	158										321	
// 32 //	152											152		
計	605	320											925	
六甲学舎	昭和24年度					1	2			1			4	
	// 25 //				1	1	3	1					9	
	// 26 //				3	10							31	
	// 27 //				2	6	12	5	16				41	
	// 28 //				15	12	69	14	64				174	
	// 29 //				91	175	52	149	56				523	
	// 30 //				94	60	177	30	152	38			551	
// 31 //				82	163	151	151	151				396		
計				288	60	542	174	477	188				1,729	
松野・西代学舎	昭和24年度											1	1	
	// 25 //											2	2	
	// 26 //											3	3	
	// 27 //											5	5	
	// 28 //											13	13	
	// 29 //											151	151	
	// 30 //											146	146	
// 31 //											141	141		
計											462	462		
御影分校	昭和25年度													
	// 26 //													
	// 27 //		2				1		6				9	
	// 28 //	1					1		3				5	
	// 29 //	1	1				1	8	1	4			16	
	// 30 //		3			1	12		5			1	35	
	// 31 //	5	2			4	45	1	27	2	27	3	117	
// 32 //	43	73			44	42	81	28	84	32	20	84	531	
計	50	81			49	99	84	77	87	77	23	86	713	
姫路分校	昭和29年度					1							1	2
	// 30 //													
	// 31 //	7				4		1		5	3	3	23	
// 32 //	39	79			40		82		81	21	83	425		
計	46	79			45		83		86	24	87	450		
合計	373	765	320	382	159	709	251	650	265	158	635	4,667		

昭和32年10月末日現在

神戸大学大学院・専攻科在籍学生数一覽表

入学年度	性別	大学院 (修士課程)					大学院 (博士課程)					合計	専攻科					
		経済学	研究科	経営学	研究科	法学	研究科	経済学	研究科	経営学	研究科		法学	研究科	理学	専攻科	工学	専攻科
昭和28年度	男			1		1												2
	女			0		0												0
	計			1		1												2
昭和29年度	男	1		1		4												6
	女	0		0		0												0
	計	1		1		4												6
昭和30年度	男	2		(1)		7		3		6		6		1			(1)	25
	女	0		0		0		0		0		0		0			(1)	0
	計	2		(1)		7		3		6		6		1			(1)	25
昭和31年度	男	11		14		7		6		3		1						42
	女	0		0		3		0		0		0						3
	計	11		14		10		6		3		1						45
昭和32年度	男	4		9		7		(1)		7		3		2			(1)	32
	女	0		0		2		0		0		0		0			(1)	0
	計	4		9		9		(1)		7		3		2			(1)	34
合計	男	18		(1)		32		22		(1)		19		12		4	(2)	107
	女	0		0		5		0		0		0		0			(2)	5
	計	18		(1)		32		27		(1)		19		12		4	(2)	112

大学院・専攻科学舎別在籍学生数

学舎別	入学年度	大学院 (修士課程)					大学院 (博士課程)					合計	専攻科					
		経済学	研究科	経営学	研究科	法学	研究科	経済学	研究科	経営学	研究科		法学	研究科	理学	専攻科	工学	専攻科
六甲学舎	昭和28年度			1		1												2
	// 29 //			1		1		4										6
	// 30 //			2		7		3		6		6		1				25
	// 31 //			11		14		10		6		3		1				45
	// 32 //			4		9		9		7		3		2				34
	計			18		32		27		19		12		4				112
御影学舎	昭和32年度																9	9
	昭和32年度																8	8
合計			18		32		27		19		12		4			9	8	17

